

京都 大さかへ行きました。あいち県のところ
なめに行つた時にどこへ見ても陶芸の物がいっぱい
いありました。たからおもしろかったです。とても
楽しい夏休みでありました。

10月から芸大さいのじゅんぶのためには色んな
作品を土で作るみなでけこう毎日いじょうけ
んめい作品を作っておそくまでがんばつた事はい
い想い出にのころと思ひます。11月の3日に
芸大さいが行なわれ、とうきちでは作の販売
の時間になると人がいほいあつまつておたがい

にうばたりしてでの販売だたすごくおもしろ
かったです。あとという間に作品を完売しました。

12月になるとクリスマスと正月の時きが来
ました。南米ではせい大にすごします。ここ
ではさびしいクリスマスです。すごすと思ひいま
した。が幸いにイブの24日は友達といし。にま
ごして。そして25日は親せきの家で楽しくす
ごす事が出来て特別な。そして。想い出にの
ころクリスマスと思ひます。正月は本土が
らいとこ達が沖繩に帰つて来ていとこ達とは

ひさしぶりに会ったので色んな所へあそびに行たり、色んな話したりしてたりとても楽しかった。とても幸せでした。

この一年はとても早くすぎた気がしました。

でも色んなけいけんをしました。初めて一人ぐらし、日本の大学で勉強が出来た事、文化のちがいにふれた事、新しい友達が出来たり、日本語が覚えたり、おじいちゃん、おばあちゃんの古里を知った事、沖縄の親切さそして、あたたかい気持ちを知った事、沖縄にいる親せき、又

は、ひさしぶりに会った親せきの子供の事、色々習った事など、私にとっても一つ一つ思い出になつて、自分にプラスになつたと思います。

沖縄はすばらしい所、はい見て来ました。

特に沖縄はとてもきれいで海のすばらしい青色は見た事がなかった。沖縄は平和ですみやすい所です。とても気に入っています。さんね

んながり、3月まで一年になります。ペルー

へ帰える事になっています。もと沖縄にもいた

いで、でもペルーへも帰来りたい心の中がまよ

います。

ペルーへ帰ったら自分の陶芸のアトリエを開く予定でもともと勉強をしてがんばりたいと思います。そしてしゅうりいは陶芸の事を教えたい。この1年でまなんだ事を多くの人に伝えたいです。

この1年は特別です。ばりしい思い出になりました。

沖縄県庁のみなさま、沖縄県国際交流財団のみなさま、沖縄県立芸術大学のみなさま、

ペルーの沖縄県人会のみなさま、たいへんお世話になりました。心よりいつまでも

イッポ ニヘデービル

一年を終えて・・・

比嘉・ベン 直哉

期待と不安を胸に抱き沖縄に来るから、本
当にあつたという間に一年という月日が立ちま
した。

芸大の方では、琉球古典芸能を専門に学ぶ
音楽学部、音楽学科、邦楽専攻、楽劇コース
に在席し、僕は琉球舞踊実技の授業を専攻し
て学びました。その他に、舞台への着付や化
粧を学ぶ扮装法という授業もありました。そ

れまでにはよかったです。関連授業として
琉球楽器実技があり、三味線と笛と太鼓と胡
弓の授業が週一回ずつあり、楽器に慣れるは
じめ始めに触れるので、とももともなかり、他
の学生の授業の足手まといになつていたと思
います。しかし、みんな休み時間などに親切
に教えてくれたりしました。又、テストの時
は、先生方もそれなりのレベルの課題を要求
するので、この期間でこれだけのものをこな
すのは厳しい物があり、その面に慣れるは

自分なりの学校に対する希望や、期待していった物が少し違ったので、がっかりしました。授業はその他に、組踊りの授業もありセリフを憶えるのが大変でした。又、学外では舞踊と三味線の研究所にも通いました。こんな感じで一年間の芸大は、あっという間に過ぎました。

又、学習面だけでなく、生活、文化の面でもアメリカと、日本や沖縄の文化が違うのに、モ一杯気付きました。それから踊りの社会で

4

も、色々と理解できないことがたくさんあり、困難する毎日でした。しかし、今となって思えば沖縄にきて本当に良かったと思えます。まず、ロスマンジェルスにいたる両親や、沖縄の県人会のみなさんの沖縄に対する考えが、とても理解でき、また僕自身も、沖縄の文化や芸能を一流の先生方に学び、そして沖縄の人の心に直接触れたことで、沖縄をもっと深く知ることができました。そのことは、これらのらの人生において、きっと役に立つことだと

思います。そして今年は、琉球新報主催の
 琉球古典芸能コンクールで、琉舞部門、
 優秀賞を受賞することができました。けいこ
 が厳しかった分、発表を見た時は涙が出るほ
 どうれしかったです。

僕は、これからアメリカへ戻って、ここで
 学んだことを生かして、又、三年後に控えて
 いる最高賞のコンクールなど、これからの課
 題に取り組みたいと思います。初めは、長い
 と思っていた一年間の留学期間も、今となっ

ては、物足りない気がします。

最後に、沖縄で色々な人と出会い、先生方
 や友達に支えられ、助けられたことを感謝し
 ます。又、こんな僕を県費留学生として選び
 世話してくださった県の方や、国際交流財団
 の方々に厚くお礼申し上げます。誠に有難う
 ございました。

三味線は私の宝物です

玉堂・ケントン・昭夫

まず始めに沖繩の皆様に私を選んでくれて感謝しています。沖繩県立芸術大学では音楽^師を専攻しています。そして私は主に三味線を専攻しています。

私の父の両親は広島から来ました。私の母の両親は沖繩から来ました。私の両親はハワイで生まれて育^った三世なので両親と私は日本語^はあんまり分かりません。それなのに私は

2:0
1:0
沖繩の文化を学びたいです。それで三味線を始めました。ハワイでは沖繩の民謡を習^っていました。意味を理解せずに弾いて楽し^かかったです。県人会から学園の話を知^りたいのであんまり来^る気持ちがないです。なければ、ハワイの大学の建築専門学校へ行きながら建築関係の仕事をしていて三味線も習^っていたのでそれで満足していました。そして沖繩で親戚がいるけどぜんぜん知らな^かかったです。段々と沖繩の文化を学ぶ気持ち

強くな。たのです。来た時はとても不安でした。だけど沖繩の言葉でイキヤリバキョーデ
 と言う言葉が会ってさうにさういう人たちに出
 合って嬉しか。たです。沖繩の生活に馴れて
 来ました。芸大で三味線と笛と太鼓と胡弓と
 琉踊を取ってから忙しくなりました。でも十
 分イヤな。たです。授業終わってから照喜
 名朝一先生の方で習いに通っていきます。道場
 で古典と民謡を習っています。ハワイでは古
 典音楽を腹を壊したような声だと言っています
 才。だけど自分はそう思いません。古典は芸
 術的な音楽だと思えます。沖繩人来ましたか
 ら古典の意味を分か。てからとても素晴らし
 い物と思えます。今は自分の気持ちを少出
 事を覚えました。ハワイで歌う時は皆意味と
 言葉が分からないけれど気持ちか伝えられる事
 が出来ます。

沖繩来る前に私の声はとても弱くて人が聞
 こえな。たです。声の発声の仕方を分から
 ない。たので友達に三味線を習って
 いる事が恥

ががしくて言えなかつたです。三味線を弾く事が音楽じゃなく声と共に出す事が音楽だと思いません。今は何となく声の発声の仕方を擷人が見たいです。今は友達に三味線を習つていゝ事が言えませう。今三味線は自分にとて命より大切な物だと思いません。

今年コンクールを受けたる為に夏休がなかったの毎朝から夜まで稽古をしていました。又新人選賞を受かりました。照喜名朝一先生が色々なステージに出して来れて感謝しま

す。県留学生は一年しか時間が与えられないのでとても短い一年間なので芸を習う人は一生時間掛かる物なので若二年か三年いたら違つたでしう。では最後になりますけど沖繩の皆様と国際交流財団の皆様大変にお世話になりました。心から厚くお礼申し上げます。

琉球風

比嘉、アンドレス パブロ

むかしむし：沖繩から著者が一人で遠い
 国へ行ききました。汽船で六十三日間かかりま
 した。アルゼンチンの言葉や生活にだんだん
 慣れていきました。しかし、沖繩のことはわ
 ずれませんでした。そのことをおじいちゃん
 は、いつも語っていました。

私は日系三世いですが、家では日本語をほとん
 ど話しません。おじいちゃんがかたくなってか

ら日本と沖繩のことをだんだん忘れていきま
 した。

小さい時に毎週おじいちゃんには日本の学校と
 沖繩県人会に連れて行きました。でも私はどう
 して日本の勉強と沖繩の言葉を習わなければ
 ならないのかその時はよくわかりませんでしたし
 た。今なら理解できます。

沖繩県立芸術大学美術工芸学部にグラフィク
 デザインの勉強をしに来ました。それを思い
 ました：

でも私は専門の勉強をするだけではありません。
 ん。大学はともおもしろいでした。授業で
 新しくしいことをたくさん習いました。そして
 毎日大学生を共にして日本のことが見えてき
 ました。そして沖繩のおじやちゃんのお話を
 だんだん教わりました。
 沖繩の若者はふるさととの文化を覚えています。
 それはいいことです。日系人たちは自分達が
 どこから来たのか、わすれてはいけません。
 夏休みに大学生と一緒に辺戸岬までドライブを
 しに行きました。その時に沖繩の海を初めて
 見えました。とてもきれいです。でることに
 ならいつも行きたいです。その時はとても嬉
 しかったです。日本人のお友達ができました。
 それから大学では淋しくなりました。やはり
 皆、とてもやさしい人です。いつも必要だっ
 たら皆で助けてくれました。
 琉球大学の留学生と一緒に渡嘉敷島、石垣島、
 黒島と西表島行きました。その時、海で泳ぎま
 した。色々な魚が見えて、すばらしい光景が

した。芸術家が塗ったみたいです。

「グラフィック魚です、友達が言っていました。」

沖繩はどこ休もいい所です。

七月に全国の帰省留学生は東京で集まりました。ブラジル、ボリビア、ペルー、カナダ、アルゼンチン、色々な国から来ていました。

一週間、皆ととまりました。スペイン語、ポルトガル語、英語も話しました。チャンブル語でした。(留学生の方言です)

東京オリンピックセンターに二日間とまっ

MOAホテルにとまりました。となりには素晴らしい美術館あります。その時むかしの日本の文化を初めに出会いました。いつも本の写真で見えていたが自分で見たら珍しかったです。翌日世界でも有名な山、富士山へ行きました。でも、ぜんぜん見えませんでした。その日、たいへん雲があっただからです。ぎんぬんでした。つぎの一週間、留学生と一緒に京都と奈良へ行きました。奈良大仏、平安神宮、安寺金閣寺、五重塔：たくさんおもしろい所を

見ました。本当に寺の中に神様の存左き感じ
 ました。

七月に沖繩では、どこもまつりあります。

那覇、沖繩市、よなばる、首里、全部立派な

大きいまつりです。でも小よなまつりが大好
 きでした。

ある夜、大里平良のかどに百五十人の小よなま
 つりがありました。小よなまつりたけれどとて
 も暖かいでした。いい気持ちでした。

お母さんから手紙がきて、マルゼンチン村人会

の けいろうかいに行き、すぐに自分のお母
 さんを書いて出し。その時かんげをした、とい
 うことが書いてありました。一週^間あとい親戚
 と緒に、大里の東雲の立納涼まつり行きました
 その時にお母さんの気持ちわかりました。

だんだん日が短くなつて来ました。

もう一年になります。もし沖繩のことばまだ
 よくわかりませんが、心の中の探し物さた
 くさん見つけました。

どうしておじいちゃんはいつても楽しそうに

がんばっていったのか！　今わかりました。

皆さん色々お世話になりました。

た、どもありがとうございます。

した。

平成五年度

